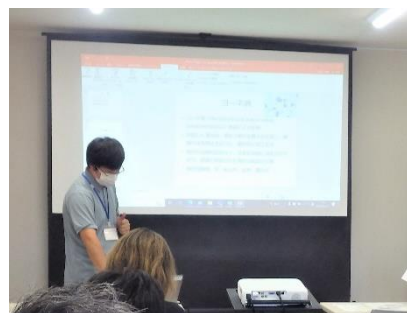


ヨーネ病対策の勉強会を開催しました

令和4年度にヨーネ病が新規発生した農場において、ヨーネ病対策の勉強会を開催しました。

わかりやすい説明を心がけました (R4. 9月)



出席者から多数の御質問をいただきました。質疑応答の一部を掲載しますので対策の参考にしてください。



牛舎の清掃・消毒はどれぐらいの頻度でやればいいんですか？ 経口感染ということは飼槽とか水槽は特に気をつけないといけませんよね。

飼槽・水槽の清掃・消毒は、汚れたら都度行うことがベストですが、なかなか難しいと思います。ヨーネ菌に最も感染しやすい時期が生後～6か月齢の期間ですので、分娩房は分娩の都度行う、哺育・育成期は毎日行う、など優先順位をつけて作業するのが良いと思います。



お産の時に感染する可能性もある、ということですか？

はい。生後～6か月齢が最も感染しやすい時期です。母牛の体表に菌が付着していたり、母牛の糞便中に菌があれば感染する可能性があります。早期に母子分離し人工哺育することも感染予防に効果があります。

一般的に使っている消毒薬は効果がないのですか？

ヨーネ菌は厚い脂質に包まれている菌のため逆性石けん等の消毒薬は効果がありません。塩素系消毒薬や石灰乳で消毒を行うようにしてください。当所のホームページにも資料を掲載していますので参考にしてみてください。

講習会の御希望がありましたらお気軽に御相談ください

北海道十勝家畜保健衛生所

電話：0155-59-2021 FAX：0155-59-2571

夜間・休日TEL 0155-26-9005 (十勝総合振興局)